

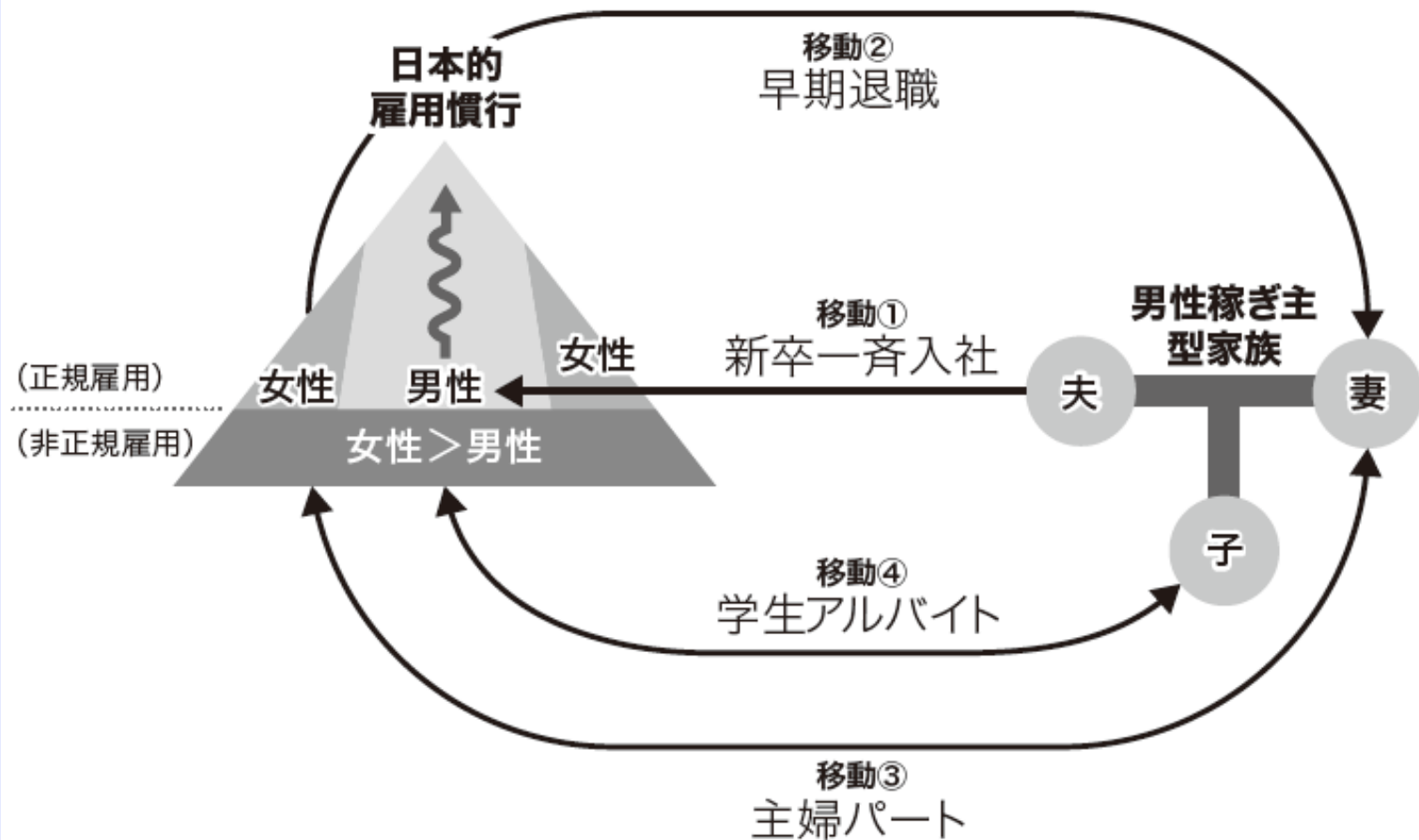
「ルイスの転換点」後の労働供給 とスキル開発と経済成長 一つの制度的な見解

2014年中国社会科学院-日本学術振興会 合同シンポジウム
2014年8月20日 北京市 中国社会科学院学術報告庁

遠藤公嗣 明治大学
endokosh@kisc.meiji.ac.jp

「ルイスの転換点」後の日本社会

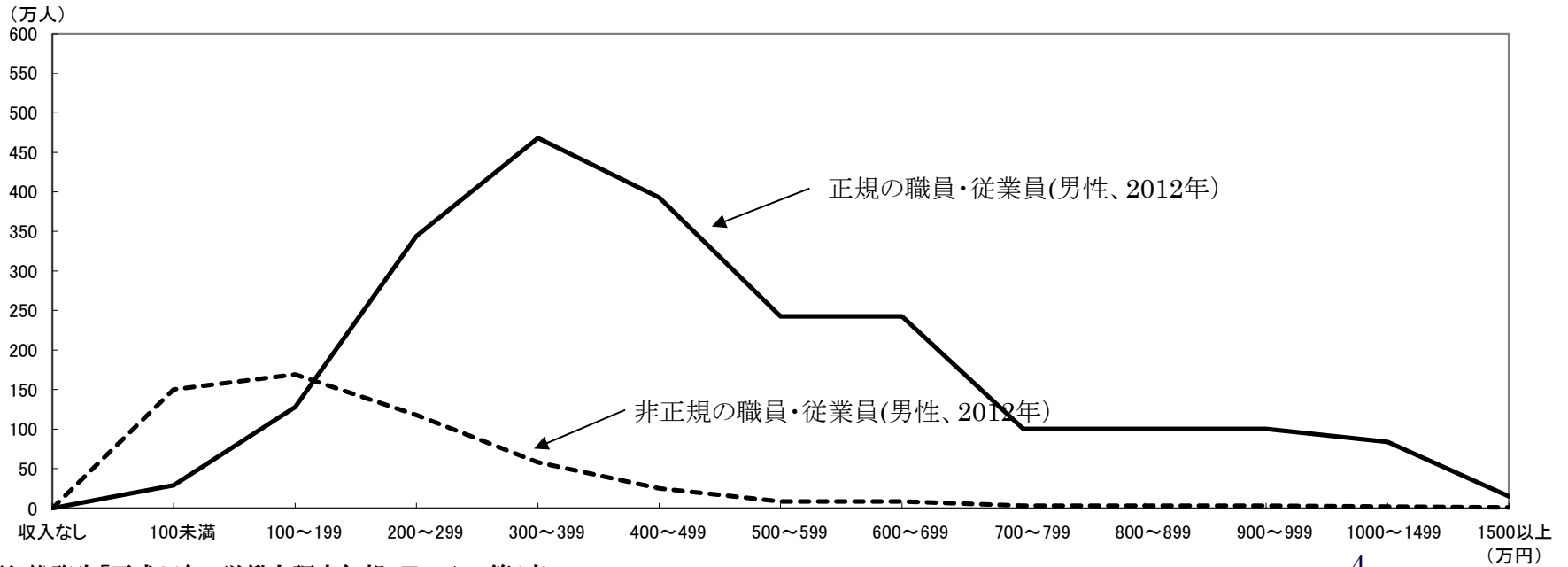
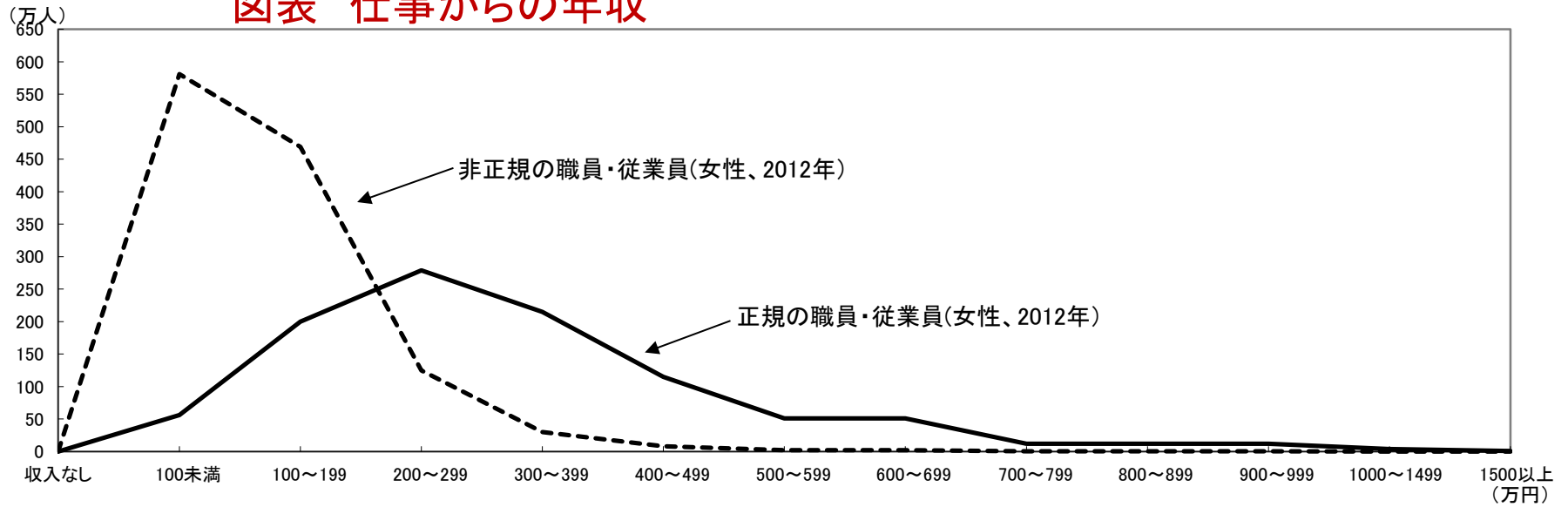
図表—1960年代型日本システムのモデル図



日本的雇用慣行

- ◆ 成立条件： 労働者の安定雇用は、企業の高度な成長を前提とし、それは人口ボーナスが1つの理由である
- ◆ 女性の能力の不十分な発揮
 - ➡ 女性と非正規の労働者への雇用差別
- ◆ 正規労働者のスキル開発を経営者に依存
 - ➡ 若者の低い失業率

図表 仕事からの年収



1960年代型日本システム： 1990年代以降に崩壊へ

- ◆ 理由：日本的雇用慣行の成立条件の喪失
- ◆ 理由：男性稼ぎ主型家族から家族構造多様化
- ◆ 女性や外国人などの不十分な能力活用による企業活動の停滞
- ◆ 若者の失業率と非正規雇用率の上昇
- ◆ 非正規労働者である一人親 ➡ 世代を超えた貧困の伝播

1960年代以降の西洋諸国

- ◆ 男性稼ぎ主型家族から多様な家族構造へ
- ◆ もともと職務基準雇用慣行
- ◆ 女性や外国人などの十分な能力活用
- ◆ 容易に法で雇用差別を禁止できる
- ◆ 問題： 若者の高い失業率
 - ➡ 若者のスキル開発をすすめ、若者の雇用可能性を高める

「ルイスの転換点」後の中国 日本と西洋諸国とは違うコース

- ◆ 男性と女性の雇用均等を達成した後に「転換点」を迎える—世界初？
- ◆ 「知識経済」段階に達した後に「転換点」を迎える—世界初？
- ◆ 広大で多様性の大きい国土のため、「転換点」はあいまいかもしれない
- ◆ もともと職務基準雇用慣行

中国における「ルイスの転換点」後の コースを準備する政策課題

- ◆ 日本からの教訓：出稼ぎ農民工と都市の一般労働者との均等雇用を促進する諸制度をつくること
- ◆ 西洋諸国からの教訓：若者のスキル開発をすすめる、若者の雇用可能性を高める諸制度をつくること